



広報しまだい

2012

7

vol.13



【学長スペシャル対談】
フリーアナウンサー
石原美和さん

語るろう、島根への思い。



島根大学の元気を全国に発信！
松江キャンパスから
NHKラジオ公開生放送！

話題ゾクゾク、興味モリモリ。

島大

検索

フリーアナウンサー
島根大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業

ISHIHARA MIWA
石原美和さん ×
KOBAYASHI SYOTAI
小林祥泰

島根大学 学長



撮影協力/
松江しんじ湖温泉 松平閣

石原美和さん／松江市出身。島根大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒。1990年山陰中央テレビ(TSK)入社。現在はフリーとして、各種司会、番組・ビデオ・CMナレーションの他、音楽と国語を融合した授業のゲストティーチャーやライターとしても活躍中。2011年7月から山陰中央新報で「いにしえの島根魅力再発見」を連載している。

■島根大学の研究・地域貢献事業紹介

- ①法文学部 長岡真吾教授 7
- ②教育学部 川路澄人教授 9
- ③総合理工学部 青木美穂准教授 11
- ④生物資源科学部 伊藤勝久教授 13
- ⑤医学部 堀口淳教授 15

■しまだイトピックス 17

- サークル紹介 20
- 手話サークル いとまき
- 医学部女子バスケットボール部

- 島根スサノオマジック紹介
- 島根大学支援基金寄附者一覧・プレゼント 21

語る、島根への思い。

ゲストは、現在フリーアナウンサーとして活躍しながら、出雲市に木綿街道カフェ&日本酒「結(ゆい)」を開くなどマルチに活動の場を広げる石原美和さん。未来へ向けての地域活性化への思いを語り合う、意義深い対談となりました。

フリーになり、地域の方々とのご縁に助けられたとき、地元愛が芽生えました

学長 島根大学の学生時代はNHKでFMのDJをやっていたとお聞きしました。

石原 そうです。入学してすぐ、社会に足を踏み入れて知らない世界を見てみようと思えばアルバイトを探し始めました。他の人がやっていないことをやってみようと思っていたところ、たまたまオーディションに受かって。その経験から、卒業後の進路としてアナウンサーを考えるようになって、山陰中央テレビ(TSK)に入社しました。**学長** まさに学生時代か

ら社会体験をしていたわけですね。これから島根大学も学生のときから社会体験をさせようと考えています。

石原 進路の悩みは大学の先生だけでなくアルバイト先の方々にも相談していました。3年生の時に、「アナウンサーに挑戦してみたい」とNHKのアナウンサーの方に相談したら、NHKが主催する京都のマスコミセミナーを紹介していただいて受けてみたり、ニュース原稿を使って指導していただいたりして、すごく助けられました。



1946年生まれ、出雲市出身。慶應義塾大学医学部卒業後、島根医科大学医学部教授、島根大学医学部附属病院長などを経て、2012年4月より島根大学長に就任。専門は神経内科学。

学長 大学の中だけだとそういう経験をするのは難しいですね。社会体験を通じてコミュニケーションができるようになる。大

学としてはそれを正規の授業の一環と考え、単位を与えようと思います。

石原 学生のときに経験したことが、今になって役立つことがすごく多いとしみじみ思います。NHKでアルバイトを始

■学長スペシャル対談

島根大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業

フリーアナウンサー **石原美和さん** 1

■しまだいNEWS!

島根大学の元気を全国に発信!

松江キャンパスから、NHKラジオ公開生放送! 5

しまだい

2012 **7** vol.13



めてすぐ、3時間の生放送番組の構成や選曲を全部任せていただいたことがありました。自然と構成力が身に付いて、山陰中央新報などでさせていだいているライターの仕事に役立つています。そのときは楽しくやっていたけど、今思えば学ばせてもらっていたなあ。

学長 やつぱり楽しいから一生懸命できる。何でもそうですよ。そうした地域の方々とのつながりが、石原さんの地域活性化活動への根底にあるのですか？

石原 私はずっと地元で生活しているのですが、地元愛が芽生えてきたのはフリーになってからです。フリーになると、自分で動かないと仕事はない。営業の仕方もわからなかったの、人とのご縁で仕事をいただくことが多いんです。そうなる自分のためだけじゃなく、地

域に貢献できることはいかと思ってしまう。それが30代半ばでした。仲間と一緒に、広島原爆資料館の朗読ボランティアを島根で企画するなどしましたが、もつと何かをしたいと思ひ、色々探していたところ、日本酒に出会いました。日本酒は、日本の米と水を使い、日本人が作っている。日本酒一つで、島根の様々な事を応援できるのではないかと思つたのです。

学長 私は元々家が病院をやっていたこともあって、家を継ぐことが一つの使命と思つていました。でも、本当に地元に対する思いを強くしたのは、こちらで医療に従事する中で人とのつながりを持つようになってからですね。地域の方々からの信頼を凄く感じ、地域密着型の医療を意識するようになりました。



これからの地方大学は地域を活性化するリーダーを育てていかなければなりません

石原 ところで、昔は都会でしかやれないことがたくさんあるのではないかと思ひ、県外に出たいと思つていました。でも、島根にいても色々なチャンスに恵まれることもありまし、ここだからこそできる

こともあると思ひませんか？

学長 人とのつながりはやつぱり地方の方が実感できる。生活していると、故郷を愛する気持ちがさらに出てきます。自分の仕事を尽くすと、その分

島根の酒文化を伝える日本酒カフェ

石原さんが店主を務める、木綿街道カフェ&日本酒「結」は出雲市平田町の木綿街道沿いにあります。利き酒師の資格を持つ石原さんが、酒蔵を巡り厳選した約30種類の日本酒をはじめ、おいしい食事も楽しめます。様々なイベントも開催しておりますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

住所 島根県出雲市平田町808

(持田醤油店となり)

電話 (0853) 27-9228

詳しくはHP (<http://blog.goo.ne.jp/sunupmiwa>) でご覧いただけます。



が返ってくる。自分は地域に生かされていると感じます。

石原 経営している日本酒カフェ「結」を始めるきっかけは「もつと木綿街道をPRしたい」という地元の方の思いでした。一度お断



◎対談は、宍道湖を望む純和風の庭園が美しい、松江市の「松江しんじ湖温泉 松平閣」で行われました。既知の間柄ということで、終始和やかな雰囲気包まれ進行。島根の活性化について有意義な会話が交わされました。2人とも顔をほころばせ、思い出話に花を咲かせる場面もありました。

りしたのですが、再度お話をきたので、「これはやらないといけない」と決心しました。私のモットーは、「100%を求められたら120%で返す」ですから。ですが、やはり「木綿街道

を盛り上げたい」という地域の熱意に支えていただいています。色んな方に来ていただいて本当にありがたいです。

学長 そうした意味で、先ほど話した社会体験は

地元にも密着した中小企業で実施した方が本当の意味の体験学習になるのではないかと思えます。本学の学生にもすでに色々活動している学生がいて、「すごいな」と感心させら

れることもあります。

石原 「結」にも島根大学の学生がお手伝いに来てくれます。地域のことにも関心があり、休みがある度に、雲南市で田植えを手伝うなど活発に行動している子です。「将来は何になりたいの」と聞くと、

「島根の警察官になりたい。地域の人を守る仕事になりたい」って。岡山出身なのに。そんな学生がいたりするので頼もしいですね。

学長 これからの地方大学はリージョナルセンターでなければいけません。地域に密着し、地域から支援され、地域を支援する。都市圏の大学とは意味合いが違うわけです。我々は地方を活性化するリーダーを育てていかないといいません。先ほど述べた社会体験では、大学外のネットワークができます。それは学生の将来にとってすごく大事なことだと思えます。生まれ故郷じゃなく

でも、みんなと親しくなればその場所も故郷になります。

石原 私は、「結」のある平田町が出雲市と松江市との中間点に位置するので、出雲の人と松江の人の縁結びができたらいいなあと思っています。飲食店というより古民家公民館というのがテーマで、もっと色んな人に利用してほしいです。今は、毎回講師をお呼びして神話座学という小さな会を開いています。お酒を通じて肩書や年齢の垣根を取り払い、みなさんが楽しく過ごしてくれるので開催してよかったです。今後は、日本酒以外のものにも携わり、次の世代のために何かをやりたいと考えています。

学長 本日はありがとうございました。これからも島根の活性化のために、ともに頑張りましょう。

島根大学の元気を全国に発信！

各地の話題を全国の視聴者に届ける

中継車「80（はちまる）ちゃん号」が島根大学に来校！

松江キャンパスから、

NHKラジオ「ここはふるさと旅するラジオ」の
公開生放送が行われました。

松江の和文化をいかした 多彩な取り組みを紹介

NHKラジオ第1で放送
されている「ここはふるさと
旅するラジオ」の公開生放送
が、5月24日、本学・松江キャン
パスで行われました。太陽の
照りつける夏空の下、学生や
地域の方々約100名の聴衆
を集め、小林祥泰学長や学生
団体のメンバーが松江市の和
の情緒をいかした日々の取り
組みを発表。島根の魅力を全
国にPRしました。

出演したのは、小林学長の
ほか、学生バンド「日本」に輝
いた「ぼすとん茶の湯会」、
デザインチーム「mono

pro(モノプロ)」、地域活
性化活動を実践する「ACT
(アクト)」の各メンバーと、
「島根学」を開講する教育開
発センターの松田岳士准教
授。それぞれが、自作の曲や創
作品を披露すると、会場から
大きな拍手をいただきました。
小林学長は「古代から続く、
松江の和の文化を守り育む
大学を目指している。地域に
密着し、学生のやる気、元氣、
本気を届けることで社会貢
献していきたい」と本学の今
後の目指す道をPRしまし
た。



ラジオ第1/FM
旅するラジオ
午後0時30分～
生放送！
一緒に島大や松江の
元気を全国に放送
日会
あひる
今井朝馬
アサヒ

学生日本一！作務衣姿のロックバンド 「ぼすとん茶の湯会」

「ぼすとん茶の湯会」は島根大学と鳥取大学の学生が結成した4人組。「松江の和の情緒溢れるテイストを重視した」とドラムスの藤原聡



メンバーの1人が大学の實習のため不在でしたが、作務衣姿の3人は曲に込めた思いを熱く語ってくれました。

さん(法文学部3年)が話す通り、作務衣に下駄履き姿の独特なスタイル。ロックやジャズ、エスニック音楽など様々なジャンルを取り入れたオリジナルの曲と詞の世界観にこだわりを持つバンドです。昨年11月にあった「カレッジロックフェスティバ

ル2011」で見事優勝、3月には山陰地方で活動するアマチュアバンドのコンテスト「あまばんぐらんぷり大会」でも頂点に立ちました。12月にはCDの全国発売も決まっています。藤原さんは

この日も、「地元で応援してもらっている感謝の気持ちを伝えるため、これから先も昇り詰めたい」と力強く宣言しました。

「ACT」代表の武田翔太さんは、「歩くだけで島根の魅力が伝わるまちづくりにしたい」と活動目標を話しました。



武家屋敷をライトアップした際の写真を手に、創作活動について紹介する「mono pro」のメンバー。



小林学長が島根大学の魅力をPRすると訪れた学生や地域の方々からは大きな拍手が起こりました。



松田准教授。一般市民の方々も受講できる公開授業として開講中の「島根学」では、島根にゆかりのある著名人を講師に招いています。

松江の城下町を彩る ライトアップ集団「mono pro」

総合理工学部・同研究科の学生有志で構成する「mono pro」は、日ごろ学んでいる建築の知識をいかし、和紙を素材にしたアート作品を制作しています。昨年は、9、10月に開催された「松江水燈路」で松江城周辺の武家屋敷のライトアップを担当しました。「松江には和

紙という素晴らしい素材があるということをお自分たちの作品を通して知ってもらえたら。今後も和紙を中心に創作活動を続けながら、来待石や石州瓦などの伝統素材を使った作品にも取り組んでいきたい」と、代表の柴田直人さん(同研究科2年)が抱負を語ってくれました。



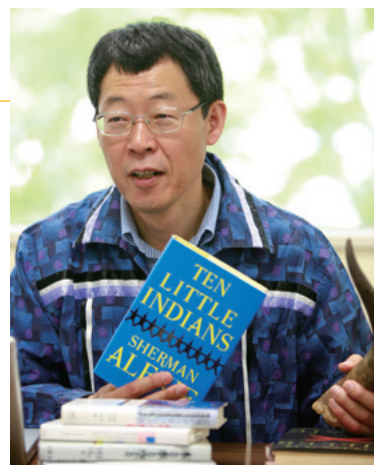
島根大学の研究・
地域貢献事業紹介

法文学部

コミュニケーションと 文学の関係を明らかにする

米国の現代作家に焦点を当てた研究を進める長岡真吾教授に
価値観の異なる人々が共生できる
社会の実現に向けた取り組みを伺いました。

「前任校の筑波大学時代から続けているクリエイティブ・ライティング(創作)の授業では、学生たちが存分に小説や物語を書いてきます。それは誰にとっても大切なコミュニケーションの方法なのです」と語る長岡教授。



ながおか しんご

法文学部 教授 **長岡真吾**

他者を理解するために、 固定観念を打ち破る文学作品

長岡真吾教授は、米国のマイノリティ作家や現代先住民作家に焦点を当て、コミュニケーションと文学の関係について研究しています。「歴史的に迫害されてきたアメリカ・インディアンは、現在でも白人社会から差別を受けたり、民族的に対立したりしています。しかし、私が主に研究しているシャーマン・アレクシーという作家は、面白い小説や詩や映画を次々に発表することで、それまで先住民のことも興味なかった白人層にも大幅にファンを増やしました」

人間は、自己とは異なる

現地調査を通して知る、 先住民の記憶

長岡教授は「記憶」を自らの研究の重要なキーワードと位置付けています。国家の公式の歴史となるのが「記録」であるのに対して、「記憶」はより個人的な意味合いが強く、小さな集団ごとにも共有

他者を理解しようとするとき、固定観念にとらわれてしまいがちです。その壁を打ち破ることは容易ではありませんが、文学ならば価値観の違いを超えたコミュニケーションが可能になるというのです。

「映画や音楽、歴史の資料なども手がかりにして、作品に込められた人々の『声』の意味を考えていくことが大切です。そうすることで、互いの違いと同時に共通することも分かってきます。そこから『違和』を『親和』に変換し、他者を自己へと翻訳する可能性が開けてくるのです」

されます。

「人種や文化が異なる集団間ではしばしば歴史観も異なります。しかし、個人の『記憶』は、それとは別に理解され共有される可能性が高いのです。できるだけ多くの『記憶』の物語を、



長岡教授が身につけているのは、先住民族の友人からもらったという民族衣装。胸部に、淡い紫色と白色からなるリボンがあしらわれており、腰には暖色系の色を配したベルトを巻いています。1年半に1度の頻度で、現地調査のために米国を訪れています。

米国先住民族の祭り「パウワウ」に民族衣装で参加する男性たち。ここで長岡教授はラコタ族の戦士からバッファローの角を贈られました。ワシントン州にて。



現地調査で訪れた米国のスポケーン保留地で、先住民族の友人たちと記念撮影する長岡教授。



ちよっとなるキーワード

長岡教授は近年、島根県にゆかりのある作家、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）についても研究を重ねています。「ハーン作品は『違和』を『親和』に変えていく点で文学的コミュニケーションの良い例となっている」と指摘。「たとえば『雪女』は、冒頭は雪女という、外国では馴染みのない化け物が人の命を奪う話になっていますが、結末は、妻を失う夫の物語、母を失う子の物語、家族を失う女の物語で終わります。八雲はこのようなして違和感ある世界と親しみのある世界との橋渡しをしています」と評価しています。

違和感を親和感に変える ラフカディオ・ハーン



長岡教授が研究成果などを寄稿した書籍

歴史の中に楔のように打ち込んでいくことが重要です。そのために、小説や詩が伝えてくれる記憶だけでなく、現地調査をして生身の人たちが語る記憶の文脈を調査する必要もあります」と語る長岡教授は、「価値観の異なる人々が共生できる社会の実現」を研究目的に掲げています。研究成果は、書籍などへの執筆活動や市民を対象にした公開講座を通して広く提供しています。7月には放送大学で、面接授業「文脈から学ぶ英語」を開講する予定です。



美術・造形教育の 実践力向上をテーマに、 学生の資質向上にも注力

初等教育における造形教育の教材開発を研究する川路澄人教授。
教職パフォーマンスの向上への取り組みについてもお聞きしました。



自分一人で教えられる範囲には限りがあります。でも、私の下で学んだ学生たちが、それぞれの教育現場でしっかり教えてくれることで、より多くの子どもたちに図画工作や美術の楽しさを伝えられたらうれしいですね。

かわじ すみと

教育学部 教授 **川路澄人**

造形理論も学べる教材開発に加え、 地元・教育機関での研修も実施

「『センス』という言葉で片付けられがちな図画工作や美術。でも、「絵を上手に描くことが目的ではなく、自分の思いを上手に表現するために工夫する思考や、意欲を持たせることが重要なんです」と初等教育開発専攻を受け持つ川路澄人教授。

「図画工作や美術も、算数・理科などと同じようにセオリーがあり、それに従って段階的に理解できるものなのです」。こうした

考え方に基づき、子どもたちが楽しく造形活動を行い、同時にその活動を通じて美術という文化の理解を助ける教材開発の研究をされています。

また、実践の場での検証を行う意味も含め、地元小学校にお願いしての図工キットの試行や、地元保育園・幼稚園で、園児に対する保育者さんの教育活動を支援。教材の工夫や教え方についての研修なども行っています。

学生の資質向上を研究&実践し、 教員採用の好実績に結実

他方、「いかに上手に教えるか」という側面から、教職パフォーマンスの研究も推進。「大学での講義、理論はもちろん大切ですが、それだけで優れた教師になれるわけではありません。多様な児童・生徒と接する際の言葉遣いや立ち居振る舞い、例えば、字を丁寧に書くというような行為の一つひとつが、と

ても重要なのです」。

そこで、具体的場面をシミュレーションし、ビデオによる検討、再チャレンジなどで実践力を養成。さらに、「子どもと同じ目線に立つ経験の一環として、粘土細工や果ては泥ダンゴづくりなども、真面目にやってもらっています」(川路教授)。

併せて、教員採用の支援



教師を目指す学生たちの資質向上を図るセミナーを開催し、教員採用へ向けてのサポートも。

子どもたちと一緒に、実践の場での造形教育のひとコマ。地元の保育園等で、保育者さんの教育活動の支援なども行っています。



泥ダンゴづくりやペインティングも一生懸命にやって、子どもと同じ気持ち学ぶ。



**ちょっと
気になるキーワード**

平成23年3月卒業生の教員就職率において、島根大学が国立の教員養成大学等の中で全国7位となり、「教職パフォーマンス向上への努力が実を結びました」と川路教授。6月には新テキストが完成するそうです。



教員採用試験対策用の島大オリジナルテキストブック

**教員就職率が大幅アップ！
全国7位の好成績**

「自宅で自分の帰宅を待つキャラクター」をテーマとした、学生の作品。



にも注力。大学としてのノウハウの蓄積と伝授を目的に、オリジナルテキストブックを作成したり、1泊2日の学内セミナーを開催したりして徹底指導も。学校教育を支える教師の能力向上と、実際の教育現場へ送り出しに奔走されています。



島根大学の研究・
地域貢献事業紹介

総合理工学部

未知の領域を解明していく 緻密な研究

新定理の構築を目指し、整数論の問題へのアプローチを続ける青木美穂准教授。数学研究の道を志したきっかけから、自身の研究、後進育成への思いを伺ってきました。



「学部生の頃、大学の先生にフェルマーの最終定理の解説をお願いしたとき、『もう少し数学を勉強してきてください』と言われ、それから真面目に数学に向き合うようになった」と語る青木准教授。

あおき みほ

総合理工学部 准教授 **青木美穂**

「素朴な疑問から生まれる数学的問題」 フェルマーの最終定理

「私が研究している整数論は、一般の方でも知っている要素がたくさんあります。多くの問題は、素朴な疑問から生まれているのです」と、一見すると難解な印象を持たれがちな数学の領域について語る、青木美穂准教授。

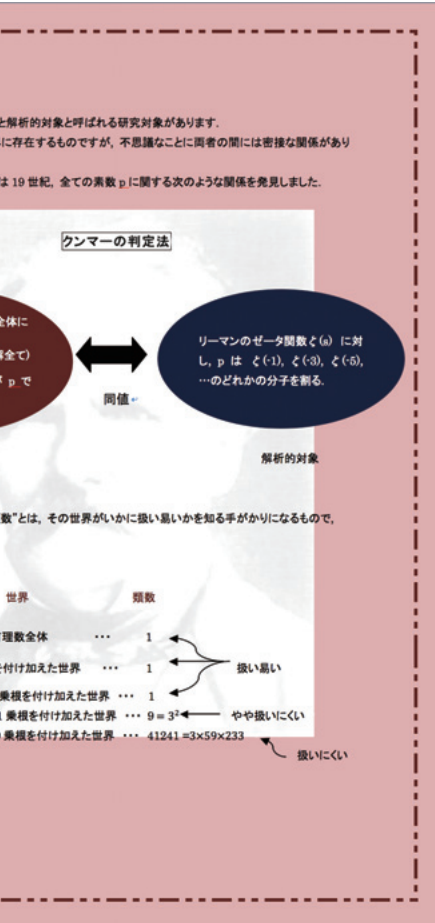
例えば、「 $x^n + y^n = z^n$ 」をみたす自然数の組は存在しない」という「フェルマーの最終定理」。「 x が 2 の場合は無限組の解が存在しますが、 x を 3 以上に変えただけで解はひとつ組も存在しないこと

を、この定理は主張します。この問題は、フェルマーが1630年頃、本の余白に証明なしで書き込んだものを、彼の死後、長男が公開したものです。簡単な考察により、 x, y, z が 3 以外の素数の場合に示せばよいことが分かりますが、フェルマーの書き込みは、以後350年以上にわたり多くの数学者を悩ませることになったのです」と、歴史的大論争を巻き起こした大定理が、1995年に証明されるまでの舞台裏を解説します。

数学の魅力伝えられる 人材の育成に向けて

青木准教授が数学を専攻するきっかけとなったのが前出の定理。「高校の教科書の章の間に小話として載っていて、その時は未解決でした」。その後、数学の教員を目指そうとしていた大学2年生のとき、定理が証明されたという

ニュースを知り、高校時代に興味を持ったことを思い出しました。「新しい理論をつくりたい」と今後の目標を掲げています。後進の育成にも熱心です。「学生の多くは、計算して答えを導く高校数学と長い証明を経て答えを導く



青木准教授が研究に取り組む「岩澤理論」につながる「クンマーの判定法」。難解そうですが、多くの数学の問題は素朴な疑問から生まれるといえます。



ベルリン工科大学での講演。



来日した海外の研究者仲間とは、観光などをして親交を深めています。

リンゴが各テーブルの上に
同じ大きさの正方形に並んでいる。

61脚のテーブル

猿が、あるテーブルにリンゴを
一つ追加した。

全てのリンゴをまとめて並べ直したら、
大きな正方形ができた。

リンゴは全部で何個あるでしょう??

高校生への出張授業の際に使用した資料。イラストや色を配し、親しもう工夫がしてあります。



ちょっと
気になるキーワード

アメリカのクレイ数学研究所が2000年、7つの数学上の未解決問題に対して100万ドルの懸賞金をかけました。懸賞金を得るためには、数学の専門誌に発表し、2年の経過期間に反論がなかった場合に設置される顧問委員会で、間違いないと判定されなくてはなりません。青木准教授は、「数学を専門的に研究するようになってから、長年解かれていない問題を多く知りました。特に整数論は、とても単純なのに証明されていないことが多い分野だと思います。長い間予想だった問題が解かれて、その証明を読んだとき、単純そうに見えた問題に隠されていた奥深さにいつも圧倒されます」と数学の魅力を語ります。

100万ドルの
ミレニアム懸賞問題



代数的K群と呼ばれるものについて考察した論文を掲載した数学の専門誌。

大学数学の違いにとまどいます。大学からの数学は、答えにたどり着くまでに半年や1年かかることは珍しくありません。明らかになることは一つもなく緻密に研究成果を積み上げていくことが醍醐味なのです。

学生に伝えたいことは、数学の知識ではなく自分の頭で考えることの重要性です」と語ります。高校生に向けても、出張授業などを通して、大学数学に興味を持ってもらおうきっかけづくりに取り組んでいます。

整数論には代数的対象
それぞれ全く異なる世界
があります。
ドイツの数学者クンマー

有理数 $1, 1/2, 1/3, 2/3, \dots$

1のp乗根全体($\zeta^p = 1$ の解)
を付け加えた世界の類数が
割れる。

代数的対象

代数的対象における「類
自然数の値をとります。

有
有理数に $\sqrt{2}$ を
有理数に1の3
有理数に1の3
有理数に1の59



島根大学の研究・
地域貢献事業紹介



生物資源科学部

森林問題を端緒に 中山間地域の 活性化を目指す

現代社会が今一度見直すべき「森林」「農林業」「農山村」等について、
将来の方向性を模索されている伊藤勝久教授にお話を伺いました。



「現代社会を映し出す鏡のようなもの」という
森林問題。中国西部の少数民族自治区にある
島根大学・寧夏大学国際共同研究所の所長と
して、日本が歩んできた事例を参考にしつつ、
中国農村部の開発問題にも取り組んでいます。

いとう かつひさ

生物資源科学部 教授 伊藤勝久

幅広い問題を内包する 森林問題に取り組み

「国土の7割を占め、森林資源が豊かな日本ですが、実は健全な森林は少ないのです」と、適切な林業の利用と森林管理の方法を、現場に即して研究中の伊藤勝久教授。「もつと伐採し森林資源を循環的に利用することで、水源涵養やCO₂吸収などの機能も高まります」と視野は環境問題等にも及ぶ。価格競争力が弱く衰退する日本の林業だが、現代日本人の「森林に対する意識を変える必要がある」と根本的課題を踏ま

えつつ、昔ながらの薪・炭に加え、木質バイオマスや小規模水利発電でのエネルギーの自給自足等により、山村の在り方に一石を投じたいとも。
ひと口に森林学といっても、生態学・生物学的な分野から経済学・社会的な分野までカバーする領域は幅広く、さらに「その変化に時間を要し、短期間では結果が現れない」（伊藤教授）のが森林学の難しさ。気の長い取り組みが必要なのです。

中山間地の活性化問題では 地元・島根の展開に期待

こうした森林そのものの問題から一歩踏み込み、中山間地域の活性化も大きなテーマ。「山村が持つ特質を活かし、地域住民が豊かに生活できる方策や、都市が求める公益的機能を十分に発揮できる森林や農地などの地域資源の管理方法、また、U

ターン・イターン者を含めた地域の担い手づくりの条件などを研究しています」という伊藤教授は、フィールドワークのため、全国を駆け回っている。
中でも注目しているのは、地元・島根。「例えば、雲南市は有機農業が盛んで、その有機野菜の美味し

源の管理方法、また、U

で、その有機野菜の美味し



現代日本の山村の一風景である廃屋。
住人がいなくなると家は朽ち、緑に飲み込まれていきます。



山村には多くのエネルギー資源が眠っています。



農村住民と学生との田植えを通じた交流。フィールドから学び、研究成果をフィールドにフィードバックし点検する姿勢を大切にしています。



**ちよつと
気になるキーワード**

人と人とのつながり、互助・信頼関係、規範心などの「社会関係資本」のこと。「物的資本」や「人的資本」等と並ぶ新しい概念です。人々の協調行動を活発にすることにより、社会の効率性を向上できることから、「内発的な活力こそが地域の資源」という伊藤教授。ソーシャル・キャピタルを活用した政策活性化の理論構築を目指しています。

**【 地方活性化のカギとなる
ソーシャル・キャピタル 】**

山村の活性化を図るNPO組織の調査風景。内発的な活力が地域の変革をもたらします。



さなどプラスの思い出が、Uターン者を増やす背景にもなっているようです。「地域のつながりが色濃く残り、ソーシャル・キャピタルが豊かと言える島根は、20世紀型都市文明からの脱却において、言わば1周遅れのトップランナーになるかもしれない」と、中山間地域の問題解決への期待と意気込みを語られていました。



精神医学への 漢方薬の有用性を追究

抗精神病薬の副作用軽減に、漢方薬を積極活用されている堀口淳教授。
厚生労働省補助事業として推進中の
全国共同研究のお話などをお聞きました。



医学の基本は、人全体を診ること。精神医学においても、患者さんの表情や動作などを観察し話をするだけでなく、症状を訴えればその部分に触れることで、患者さんと医師との信頼関係が築かれるのです。

ほりぐち じゅん
医学部 教授 堀口 淳

抗精神病薬の副作用軽減を目指し 抑肝散の効用に手ごたえ

今年の2月に放送されたNHKのテレビ番組『夜なのにあさいち』漢方スペシャル』に出演。医療業界のみならず幅広く知られることになった堀口淳教授。ご専門の精神医学と関係の薄いイメージの漢方薬に出会ったのは5年ほど前のことで、「抑肝散（よくかんさん）」という薬を使用してみると、思いのほか効果があつた（堀口教授）。

漢方薬を使い始めたきっかけは、西洋薬の副作用に対する悩み。「不幸にして精神の病に罹患して苦

しんでおられる患者さんが、薬物療法により、さらに手が震えるなど薬の副作用にも苦しまねばならない。この二重の苦しみを何とか解決できないか」との願いから。

「抑肝散は神経のたかぶりに効くことから、従来は小児の夜泣きなどに投与されてきました。近年、認知症の寝ぼけなどにも奏功することが報告され、統合失調症や境界性人格障害などの臨床現場においても頻用されつつあります」（堀口教授）。

厚生労働省の補助事業である 全国的な共同研究を先導

抑肝散の、認知症等に対する効能メカニズムも解明されてきました。「認知症の周辺症状である徘徊や暴力は、脳内のグルタミン酸増加に起因しますが、抑肝散がこのグルタミン酸を正常化するのです」（堀口教授）。こうした中、統合失調症の治療における

抑肝散の有用性を検証するため、厚生労働省の補助事業として、島根大学医学部精神医学講座を中心に、全国34病院の協力を得て共同研究が行われています。

この大きなプロジェクトを先導する堀口教授だが、元々は『人に喜ばれる仕事

【研究全体のロードマップ】

統合失調症の薬物治療の重大な問題点

- ①20~25%が薬物治療抵抗性
- ②抗精神病薬の多剤大量療法の横行
- ③抗精神病薬の副作用によるQOLの低下

抑肝散と抗精神病薬との併用療法

統合失調症の薬物治療の飛躍的進歩

- ①治療抵抗性の減少
- ②抗精神病薬の多剤大量療法の減少
- ③副作用発現の低下によるQOLの向上

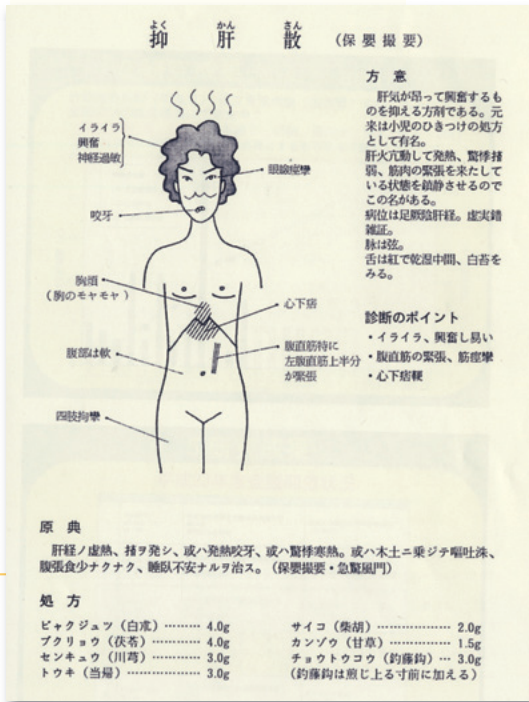
期待される社会的成果

- ①医療資源・コストの低減
- ②長期入院患者の退院促進
- ③患者および家族の負担軽減

多大な医療経済的效果

西洋医学と東洋医学の
統合医療の発展

全国34の病院と連携し3年計画で行われている
大掛かりな共同研究の成果に期待が寄せられています。



出展：高山宏世著 『漢方常用処方解説』 三考塾刊

子どもの夜泣き、かんの虫に利用されてきた抑肝散が、
精神医学分野で活用され始めました。

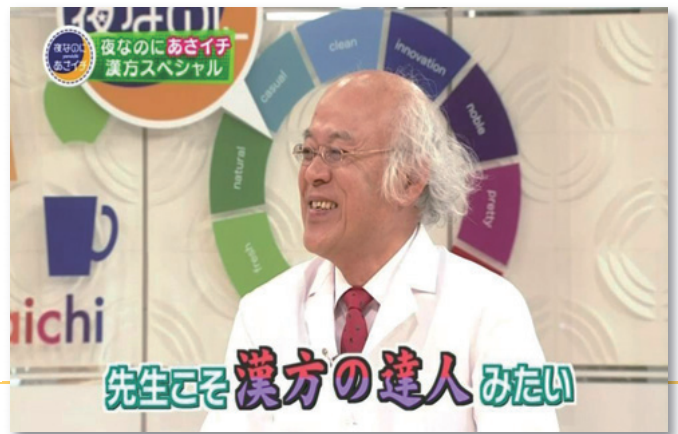


ちょっと 気になるキーワード

『抑肝散』は、7種類の生薬からなる漢方薬。神経のたかぶりに奏功するため、小児の夜泣きや痲癩（かんしゃく）に処方されてきたものです。「平成7年に、東北大の研究者が認知症に伴う精神障害に効果があるとレポートしたことをきっかけに、精神医学関係の様々な治療現場で使われるようになってきました」（堀口教授）。

古くから使われて なじみのあった抑肝散

NHKの番組に出演し、認知症等に対する漢方薬の有用性を解説。



を」と医療の道へ。患者さんに対する優しい眼差しを根底に、「西洋医学・東洋医学と言われますが、人の体や脳にとって、西洋も東洋もなインです。西洋医学的な抗精神病薬に漢方薬を加えることで、周辺症状の改善や副作用の軽減・消失する道を開きたい。患者さんの負担を少しでも軽くできるといいですね」と展望を語られた。



掲載分以外にも、島大には話題がいっぱい! ぜひ、HPをご覧ください。



topic 01

平成24年度入学式を挙行政

夢と希望に満ち溢れた 1,554名が新たに入学

4月6日、平成24年度の島根大学入学式を、松江市「くにびきメッセ」にて挙行了しました。本年度は、全学部・大学院を合わせて1,554名が入学し、新たな学生生活をスタートさせました。

式では最初に、小林学長が新入学生全員の入学許可を宣言、続いて「豊かな自然や『地の利』に恵まれたこの地で、美しいものや、不思議なものに素直に感動する心と好奇心、探究心を持ち続け、島根大学での学生生活が楽しく意義のあるものになることを期待しています」と式辞を述べました。

新入生を代表して教育学部の石倉沙希乃さんがこれからの大学生活への希望と誓いを述べた後、溝口島根県知事の祝辞が小林副知事から披露されました。

その後、教育学部音楽研究室と混声合唱団により学歌「天高く」が斉唱され、入学式が終了しました。

topic 02

学長と学生のランチミーティングを開催

より良い大学を目指し、 活発に意見交換

小林学長の発案により学生と昼食を取りながら直



接学生の意見や考えを聞き、今の学生の現状や大学生活に求めているものを知ることにより、今後の大学運営の参考にすることを目的として、「学長と学生のランチミーティング」を毎月1回定例開催することになりました。

第1回のランチミーティングは4月27日に実施され、各学部及び法務研究科の学生6名と、大学生活の状況などについて活発な意見交換が行われました。

topic 03

「日食」金星の太陽面通過「観察会を開催

世紀の天体ショー 多くの市民で大盛況!

環境寺子屋(環境・理科教育推進室)が、「日食」と「金星の太陽面通過」の観察会を松江キャンパスで開催しました。

は、日食グラスや望遠鏡で三日月状になった太陽が観察されると、歓声があがりました。また、37名の学生と教員が別働隊として静岡県に向かい、金環日食

topic 04

第4回「島根学」を開催

中村ブレイス社長が 420名を前に講演



村俊郎氏を講師に迎え、「世界遺産 石見銀山から未来への新たな発信！」をテーマにご講演いただきました。

中村氏は、今や世界中から高い信頼と評価を受ける中村ブレイス株式会社を創始者で、思いがけぬ事故や疾病により義足や人工乳房などの義肢装具が必要となった方々のために、装具の提供だけでなく、心に寄り添い支えようとする気持ちを大事にされています。その心根は義肢装具の開発にとどまらず、地域にも向けられ、地域活性化への取り組みにも積極的です。

教育開発センターでは、行政、商業、文化、地理、観光、教育などの多様な視点から島根県について学び、理解を深めることを目的とした「島根学」島根の現在・過去・そして未来」の授業を平成23年度より開講しています。

今年度4回目にあたる5月11日には、中村ブレイス株式会社代表取締役 中

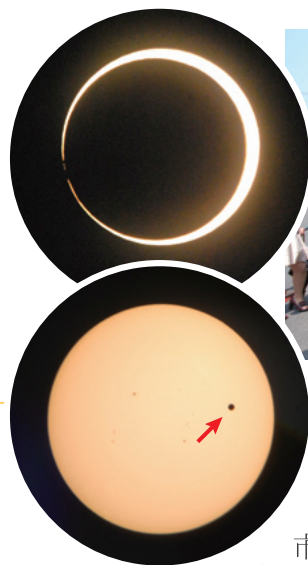
自発的に動いた人々が、また周りの人を動かしていく：といった情熱の連鎖が人を、会社を、事業を前進させていくことを感じ取れました。

当日は、420名もの学生、教職員及び一般市民の聴講があり、座席が足りないほどの盛況で、講義終了後も質問が相次ぎました。

topic 05

地球教育研究に 高い評価と今後への期待

総合理工学研究科「留学生特別プログラム」外部評価の実施



上:日食瞬間の太陽を撮影する金星
下:金星が太陽の表面を通過する瞬間の金星

の観察・撮影に成功しました。6月6日の金星の太陽面通過では、太陽の中をゆっくりと進む金星が観察できました。どちらの観察会も200名を超える学内外の方が参加し、天体現象の不思議さ・神秘さを市民のみなさんと共有する、有意義な観察会になりました。

4月12日～13日に島根大学総合理工学研究科が、昨年度まで5年間実施した「留学生特別プログラム」(英語による地球教育研究プログラム)の外部評価を受けました。外部評価委員として、モンテ・カセム立命館大学副総長と宮下純夫新潟大学名誉教授(日本地質学会会長)にお願いしました。

本プログラムの審査では、大学施設の見学、地球資源環境学領域の研究施設の視察、教員・院生のインタビュー、修士論文・博士論文のチェック、公表論文の参照等が行われました。評価後に行われた本学理事との懇談では、プログラムの高い評価と更なる発展のためのご意見もいただき、平成25年以降の新規申請やプログラム運営に大変参考になりました。

topic 06

中国四国植物学会優秀発表賞を受賞

萌芽研究に高評価！
東北復興に貢献も

5月12日～13日に行われた第69回中国四国植物学会大会で、生物資源科学部・生物科学科4年生の山木智央さんと秋廣高志助教が「イネにおける放射性セシウム輸送体の単離と機能解析」を発表し、優秀発表賞（ポスター部門）を受賞しました。

秋廣助教らは、福島第一原発事故直後からイネが持つ約1,400個の輸送体一つひとつを出芽酵母に導入し、セシウムを含む培地上で培養。その生育度合の善し悪しを指標として、セシウム輸送体候補の選抜を行った結果、17個の候補遺伝子を選抜することに成功し、その成果を発表したものです。

イネにおける放射性セシウム輸送体の単離と機能解析
○山木智央、秋廣高志(島根大学 生物資源)

概要
昨年3月11日に日本を襲ったM9.0の大地震は太平洋を巻き起こし、福島第一原子力発電所の電源装置を破壊した。その結果、圧力隔壁内の水素濃度が上昇し水素爆発が起こり、大量の放射性物質(ヨウ素、セシウム、ストロンチウム)が自然界に放出された。政府は、基準値以上の放射能汚染土壌での作物の栽培を制限し、基準値を超える食品の出荷も制限している。このような状況に対応するために、土壌から放射性セシウムを吸収しない(つまり)作物を開発することが急務となっている。しかしながら、植物におけるセシウムの取り込み、転流、蓄積に関するメカニズムの多くが不明であり、このような作物の開発は進んでいない。本研究の目的は、イネでこれらのメカニズムを解明することである。その第一段階としてセシウム輸送体の単離を行うこととした。輸送体の単離には、イネのトランスポーター遺伝子ライブラリーをライブラリーを用いた。このライブラリーを30または75 μMの塩化セシウムを含むイネの根細胞に導入し、セシウム感受性株を単離した。その結果、17個のセシウム輸送体候補遺伝子を300μMの塩化セシウムを含む30日間培養したイネの根細胞から単離した。その結果、単離したトランスポーターの多くがセシウム輸送活性を示した。

方法
現在までに構築した1,353のローンのライブラリー
イネトランスポーター群のライブラリー
高圧電離装置
プレートで電選(45℃/60分)
マイクログラフ
イネ根細胞
イネ根細胞

塩化セシウムを含んだ培地におけるスクリーニング
(A) CsCl 300μM (B) CsCl 300μM (C) CsCl 300μM (D) CsCl 300μM (E) CsCl 300μM (F) CsCl 300μM

酵母を用いたセシウム輸送活性の測定
CsCl 300μM 1hr



topic 07

島根医科大学の創設以来、
35年間にわたりご指導

医学部茶道部の宗匠に感謝状を贈呈

輸送において、どの程度重要な働きをしているのかについては現時点で不明ですが、これらの輸送体を持たない変異体を用いて解析を行うことで機能解明を進める予定です。
植物(作物)が放射性物質

質(セシウムやストロンチウム)を吸収するメカニズムを解明することができれば、汚染土壌で栽培しても放射性物質を吸収しない新たな栽培方法や新たな品種の開発につながると考えられます。

島根医科大学の創設時以来、35年にわたって医学部茶道部をご指導いただいた田部宗芳(芳枝)宗匠が昨年末をもって退任されました。

この間、医学科と看護学科の学生を多数ご指導いただいたいたうえ、熱心な学生に対しては裏千家流の更に高い水準まで引き上げる格別なご指導・ご配慮を賜りました。

4月8日、永年のご指導に感謝の意を表すべく、茶道部顧問と教え子である現・医学科6年生の3名が、宗匠が滞在されている米子市内の療養施設を訪れて、感謝状を贈呈しました。
医学部長からの感謝状に添えて茶道部全員から贈られた感謝とお見舞いの品々の中には、お稽古風景

荒れた森林を元気にしよう!
私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

みんなを
守ろう!

山陰合同銀行

本研究は、今年度4月から島根大学プロジェクト研究推進機構の萌芽研究部門プロジェクト「東北地方の農業復興に役立つ遺伝子群の探索と機能解析」として研究を行っています。

の写真集も含まれており、懐かしい教え子たちの顔を見て涙を浮かべておられました。

サークル紹介

手話は使ってこそ身に付くもの。だから活動の中心は、手話を使った会話。学外から参加の聴覚障害の方も交え、手話会話が繰り広げられます。

「活動を通じて、「コミュニケーション能力も高まれば」と和田果歩代表(3年生)ところが、時折、手話が分からなくて声に頼ってしまうことも。そこで今年から3つのルールを掲げています。

①言いたいことは手話で！
②分からないことは聞く、調べる!!
③覚えた手話は使っ!!!

平成22年には第58回全国ろうあ者大会に託児ボランティアで参加。昨年は『難聴



伝えたいという思いを大切に。心と心のつながりやぬくもりが感じられるサークルです。

児を持つ親の会』と親睦を深めました。「手話が伝わる喜びを実感。自信にもなりました」と和田さん。

今後重要請に応じてもボランティアをしたり、他団体と交流しながら、外部とのつながりも大切にしていける意向です。

松江キャンパス

[手話サークルいとまき]



言いたいことは手話で!
分からないことは聞く、調べる!!
覚えた手話は使う!!!
そして、人と人の心をつなぎたい。

出雲キャンパス

医学部

[女子バスケットボール部]



試合をやるからには、勝つ!
メンバーの個性を活かした
バリエーション豊かなプレイと、
走り負けないガッツで勝利をつかめ。

「今年のチームの特徴は個性派揃いということですね。得意分野が違う分、プレイ面にバリエーションが出来ますので、それをうまく活かしたい」と佐々木弥生キャプテン(3年生)。目指すは、どのプレイヤーが出ても二定以上のレベルを保ち、勝ちにいけるチームづくり。

現在部員はプレイヤー15人、マネージャー14人(男女バスケット兼務)。4年生がいない若いチームですが「走り負けず、ガッツで戦っていきましょー」と気持ちを前面に押し出す。

主な大会は年3回。中でも10月開催の中国四国医科学生バスケットボール大会では、昨年の準優勝経験を活かし、



個性派揃いはチームづくりだけでなく、ムードづくりにも貢献。賑やかではつつとした雰囲気は個々のモチベーションを高めます。

粘って勝ち上がっていききたいと意欲满满です。

「部員全員バスケットが大好きですし、どんなに忙しくても練習に出て一生懸命がんばっていますから、みんなで勝ち上がりたいんです」と佐々木キャプテン。

プレイヤーもマネージャーも一丸となって、勝利をつかみにいきます。

印刷テクノロジーで、
世界を変える。

TOPPAN

凸版印刷株式会社 www.toppan.co.jp
松江営業所 〒690-0887 島根県松江市殿町383 山陰中央ビル7F

島根大学オリジナル芋焼酎

神在の里 好評発売中

生物資源科学部神西砂丘農場で生産された
サツマイモ「ベニアズマ」を原材料とした「芋焼酎」

●神在(かみあり)の里(720ml) **2本入りセット**...**3150円**(税込)

※島根大学生協でしか販売しておりません。



島根大学生生活協同組合

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 Tel.0852-32-6240
<http://omise.seikyoku.jp/shimane>





島根大学は、島根スサノオマジックを応援しています!

神話第3章 終盤から終幕まで

2012年5月6日、敵地・京都でのプレイオフ1stラウンド最終決定戦での敗北にてスサノオマジックの神話第3章は幕を閉じた。
そのスサノオマジック神話第3章の2012年3月~プレイオフまでの戦いをプレイバック。

3月3-4日	対 琉球ゴールデンキングス(宜野湾)	63-81(O) 75-85(O)
首位を行く沖縄に得点源パーカーを12点、9点と封じ込められる。		
3月10-11日	対 宮崎シャイニングサンズ(松江)	86-72(O) 71-80(O)
お得意さん“宮崎”に参入以来初の敗北。なかなか連勝モードに乗れない。		
3月17-18日	対 大阪エヴェッサ(大阪)	76-83(O) 76-85(O)
今度是对8戦全敗の大敗戦。苦手克服できずに対戦成績10連敗に。		
3月24-25日	対 京都ハンナリーズ(松江)	75-63(O) 87-83(O)
西地区上位3チームとの対戦があった“試練の3月”で唯一の連勝。		
3月31日-4月1日	対 富山グラウジーズ(砺波)	61-72(O) 75-70(O)
5カードぶりの東地区との対戦は1勝1敗の痛み分け。		
4月7-8日	対 千葉ジェッツ(米子)	87-91(O) 79-60(O)
東地区8位の“格下”千葉に不覚の1敗。目標の西地区4位が絶望的に。		
4月14-15日	対 秋田ノーザンハピネッツ(松江)	96-100(O) 85-79(O)
ホーム最終戦の観客は連日の2000人超え。満員のプースターに最後に勝利をプレゼント。		
4月28-29日	対 宮崎シャイニングサンズ(都城)	97-75(O) 81-54(O)
リーグ戦最終戦は敵地で連勝。弾みをつけて西地区6位でプレイオフへ!!		

【西地区プレイオフ1stラウンド】

5月5-6日 対 京都ハンナリーズ(京都)
71-82(O) | 88-84(O) | 23-24(O)

初戦を落とし後のないスサノオマジック。敵地にもかかわらず島根より駆けつけた500人以上もの大応援団の前で奮起し、2戦目を勝利して最終決定戦へ。しかし、最後はフリースロー1本の差で西地区3位の京都に敗れました。

10月からの神話第3章にむけて、スサノオマジックは走り続けます。

オフ期間にはいろいろなイベントに出演いたしますので、イベント及び最新情報は、
島根スサノオマジック公式HPでチェック →<http://www.susanoo-m.com/>

島根大学支援基金寄附者一覧(個人からのご寄附) ご協力ありがとうございました。

(平成24年3月~5月にご寄附いただいた皆様)
(五十音順・敬称略)

足立 悦男	大下 哲司	坂田 高士	瀧口 智則	中垣 登	廣兼 志保	松上 佳織	與田 十芽夫
足立 博	金岡 吉晴	先瀬 達也	武田 成司	中西 剛	藤井 二郎	宮尾 信行	和田 珠実
安達 義昭	岸田 輝明	佐藤 泰造	館花 慎	中村 正男	古用 哲夫	宮瀬 貴久	渡部 麻美
荒川 将司	木原 美喜男	澤谷 和宏	玉木 翔子	柳楽 信雄	正岡 浩	村上 卓	渡邊 幸子
石倉 克也	熊谷 ひかり	澤谷 義広	角森 仙	七森 雅彦	増田 秀俊	矢田 斉	
板原 和雅	呉城 英彦	柴田 均	坪根 好明	林 誠治	増田 祐三	矢内 博之	
糸賀 恒夫	桑原 寿男	須山 真史	傳刀 沙季子	林 隆盛	間瀬 憲一	山根 研一	
宇野 裕典	小林 茂	外池 秀幸	土井 泉	平林 一郎	松尾 敏博	吉田 雄太	
江角 晴司	齋藤 伊織	高橋 護	中井 義信	廣兼 敦	松岡 弘親	吉本 一仁	

※ご寄附をいただいた皆様の中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

島根大学では学生に対する修学支援を一層充実させるため、「島根大学支援基金」を募集しています。
寄附書はホームページにも掲載しておりますが、郵送もいたしますので、お問い合わせください。
TEL:0852-32-6603(総務課) ホームページ http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/fund/fund_recruit/

投稿のお願い

投稿先

『広報しまだい』は、島根大学と地域の方々との相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学 広報室
FAX: 0852-32-6019
E-mail: jsy-bunsyo@jn.shimane-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.shimane-u.ac.jp>

編集

後記



日ごと暑さが増していますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。
今年度から小林学長のもと新体制となったこともあり、『広報しまだい』のデザインを一新しました。前号までとは、すいぶん印象が変わったことと思います。また感想などお聞かせいただければ幸いです。
さて、特集ページにありますように、NHKラジオ第1「ここはふるさと 旅するラジオ」の公開生放送があり、島根大学や学生たちの取り組みを全国に向けて発信しました。出演してくれた学生たちが、少し



PRESENT

ご意見をいただいた皆様の中から抽選で10名様に、
島大農場で収穫された茶葉を使った、オリジナル「煎茶」をプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもって代えさせていただきます。
※応募締切/平成24年9月14日必着

緊張しながらも自分たちの活動を紹介している表情はとても生き生きと輝いていました。対談コーナーで小林学長が述べていますが、地方を活性化するリーダーとして、彼らのような地域を舞台に活躍する学生をどんどん送り出し、地域の皆様と共に応援していきたいと思っています。

次号の『広報しまだい14号』は10月に発刊予定です。どうぞお楽しみに。

神々の国しまね～古事記1300年～

よみがえる はじまりの物語

JAPAN MYTH EXPO IN SHIMANE

神話博しまね

この国のはじまりの物語が綴られた
日本最古の歴史書「古事記」。

そこに描かれた神話の舞台が「しまね」

いま、「しまね」で新しい物語が

はじまる

今年は今存する日本最古の歴史書
「古事記」が和銅五年（西暦七二一年）
に編纂されて一三〇〇年。

この記念する年に出雲大社周辺
を主会場に「神話博しまね」を七月
二二日より十一月十一日の二四日間、
開催します。

古より受け継がれた、「しまね」の
豊かな自然、歴史、文化をこの「神話
博しまね」で堪能して下さい。



「神々の国しまね」
公式マスコット・キャラクター
しまねっこ

平成24年 7月21日～11月11日

「神話博しまね」特設会場（古代出雲歴史博物館前）

見どころは
他にもいっぱい!



しまね魅力発信ステージ



神々の地が誇る“神楽”を中心とした
郷土芸能舞台、「神々の国しまね」公
公式マスコットキャラクターしまねっこ
のダンスショー、県民によるパフォー
マンスを毎日開催!!



神話映像館

視界の果てまで広がった超ワイドス
クリーンが臨場感いっぱい! リアル
とCGのコラボレーションで見る、大
迫力の神話世界。



神々の国しまね
古事記 1300年

「神話博しまね」についてのお問合せ
神々の国しまね実行委員会
(神話博しまね推進室)

TEL 0853-53-8835 FAX 0853-53-8837
Email shinwahaku@pref.shimane.lg.jp

公式Webサイト
<http://www.shinwahaku.jp/>

神話博しまね

検索



“しまだい”の学びを体感しよう。

島根大学 OPEN CAMPUS 2012

出雲キャンパス

8/5日

医学部

- 医学科 / 13:30～16:45 (受付13:00)
- 看護学科 / 13:00～16:30 (受付12:40)

10/14日

- 医学科・看護学科 10:30～13:00 (受付10:00)

松江キャンパス

8/9木

教育学部

- 学校教育課程

生物資源科学部

- 生物科学科 ●生命工学科 ●農林生産学科 ●地域環境科学科

総合受付 ◎両日とも9:00～

8/10金

法文学部

- 法経学科 ●社会文化学科 ●言語文化学科

総合理工学部

- 物質科学科 ●地球資源環境学科 ●数理・情報システム学科 ●機械・電気電子工学科 ●建築・生産設計工学科

対象 ●高校生、高等学校教員、生徒の保護者
 内容 ●学部・学科説明、先輩からのアドバイス、模擬授業、学内施設紹介、個別相談など

要事前予約

詳しくは大学ホームページをご覧ください。

松江キャンパスにて
両日開催!

保護者対象企画 ●奨学金・学生寮の説明会 ●大学進学マネープラン講座 ほか

学生企画 **しまだいの学生を体感しよう!**
●スタンプラリー ●ステージ発表 ●先輩と相談コーナー ほか

お問い合わせ先

【松江キャンパス】島根大学教育・学生支援部 教育・入試企画課
 〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL0852-32-6073
 【出雲キャンパス】島根大学医学部学務課 入試・大学院室
 〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL0853-20-2087

▶島根大学入試情報ホームページ
<http://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>
 ▶島根大学携帯サイト
<http://daigakuic.jp/shimane-u>



QRコードはコチラ